

# 加齢性黄斑変性症の最新治療で失明を予防する!

## 加齢性黄斑変性ってなに?

聞きなれない言葉だと思いますが目の病気です。加齢などにより、黄斑部(網膜の中で最も大事な場所で視力に関わる場所)に細くてもろい新生血管が発生し、出血や浮腫(むくみ)を引き起こす病気です。欧米では失明原因の第1位で日本でも失明する方が増えている重篤な疾患です。

## 加齢性黄斑変性の最新治療って?

新生血管の発生の大きくかかわるVEGF(血管内皮細胞増殖因子)というものがあります。これを抑える抗VEGF抗体の注射が開発されました。これを注射することにより視力の改善・維持を可能にするようになりました。

## 目に注射って聞くだけで怖いんですけど…

聞くと怖いですが、実際の注射は痛みを感じることなく、一瞬で終わります。

## 実際にはどのような症状ですか?

加齢黄斑変性は視界の中心部である、見たいところが見えにくい、読みたい文字が読めないというような症状です。

■ ゆがんで見える ■ ぼやけて見える

■ 不鮮明になる ■ 中心が黒くなる

などの症状が現れることが多く、年齢のせいにしてそのままにしている方もたくさんいます。全く見えなくなるというわけではないので、不便だなーと思いながら生活している方が多いです。不便だなと思っているうちに失明することがあります。自覚症状がある方や、右のセルフチェックで変化がある方は一度、眼科専門医にご相談下さい。

私たちがあなたの目を守ります



山田 和正 医師



高橋 研一 医師



今井 仁 医師



今川 路子 医師



瀬見井直子 医師



社会医療法人  
杏嶺会

住所 〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地

電話番号 0586-48-0077

ホームページ <http://www.anzu.or.jp>

**一宮西病院**

社会医療法人杏嶺会

ホームページ <http://www.anzu.or.jp>

ホームページ <http://kyoryokai.blog48.fc2.com/>

ブログ毎日更新中!

社会医療法人杏嶺会ブログ

**あんすぶろぐ**

<http://kyoryokai.blog48.fc2.com/>

こちらのQRコードからもご覧いただけます。



地域の皆様と  
病院をつなぐ  
一宮西病院情報誌  
**apricot news**  
**vol.11** 2012年1月15日発行  
発行 社会医療法人杏嶺会(きょうりょうかい)



# アーリコット通信

## Simulation研修に行ってきました!



10月30日、日本を飛び出し、ハワイ大学医学部のsimtikiシミュレーション研修に参加しました! 救急科部長の井上先生をはじめ、医師、研修医、救急外来看護師、病棟看護師など総勢16名。実は井上先生が以前ハワイ大学に在籍していたことから、今回の研修が実現しました。このセンターには、医師や研修医、看護師などに対し、新卒から中堅、また指導者に対する研修コースまであり、内容は多彩。今回は急変時の対応や、夜間におこりやすい症例の対応、自分の役割をそれぞれの立場で考え行動するチームワークが重視されるトレーニングなど充実した内容でした。2日間の研修はもちろんほとんど英語!

英会話に慣れ親しんでいるわけではない私たちは通常の英会話に加え医療専門用語にも四苦八苦し大変でしたが、何とか2日間の研修を終え、全員無事に修了証書をいただきました。

研修が終わった夜にはきれいな夕日を見ながら、Dr.Bergを交えみんなで乾杯! フリータイムもあり充実した研修日程でした。



研修期間はちょうどハロウィンの日と重なり、ハワイのハロウィンを楽しむ時間も! 当スタッフからは大仏さまに扮した3人がハワイのメイン通りを練り歩きました。大仏さまたちは現地では大人気! 写真を撮られ過ぎて進めない! というアクシデントがあったもののスタッフ全員が楽しかった1日でした。

帰国後は、鈴木研修医と中山研修医がハワイの研修内容を院内報告会で発表しました。チーム医療の大切さやアメリカと日本との医療システムの違いなど様々なことを肌で感じることができ有意義であったと報告されました。

この研修をより一層質の高い医療や現場での看護に活かていきたいと思います。 Mahalo!



# 人生を変える健康のチカラ

～心臓突然死にならないスポーツと健康の話～

12月18日 一宮西病院主催市民公開講座を行いました。題して『人生を変える健康のチカラ』一宮西病院スーパーバイザーであり世界有数の心臓外科医である南和友医師を中心に、サッカー日本女子代表「なでしこジャパン」元キャプテンの池田浩美さんや元NHKアナウンサー山本浩さんをゲストに迎え、スポーツと健康をテーマに楽しい市民公開講座となりました。他にも「なでしこジャパン」の元チームドクターである松田貴雄医師からもスポーツを行う時の注意点や一般常識と異なる考え方など大変興味深い内容をお話いただきました。



山本浩さんと南和友医師

スポーツドクターの松田医師

## 心臓血管外科 エピソード

5月。新しい心臓チームが結成されました。その日は新チームとなって初めての手術の日。まさに手術が進んでいるそのなか、心肺停止状態で救急車で運ばれた患者さんがいました。60代半ばの女性です。銭湯で突然倒れ、意識不明のまま救急車で一宮西病院へ運ばれました。すぐに治療に入ったものの、心臓破裂していることが判明。これは全国でもあまりない、めずらしい症例です。すぐに手術を行わなければなりません。手術中の小柳医師に緊急の連絡が入りました。執刀中にもかかわらず、緊急手術を決断し、その日は予定手術に加え、緊急手術に入り、夜中の1時を超える2回の手術を決行しました。一命は取り留めたものの、手術が終わっても15日間ほど、意識は戻らないままでした。しかしその後、驚異的

な回復力で、意識を取り戻しました。ご家族も心配されていましたが、医師も驚く回復力で数ヶ月の入院の末、10月の終わりごろに無事退院されました。心配されていた後遺症も思ったほどではなく退院後の外来診察には杖や車いすではなく、ご自分の足でしっかりと歩いて来られました。その姿を見ているととても数ヶ月前に心臓が停止していたとは思えません。この患者さんは当時のことを思い出すといまだに涙が出ると言います。「大好きな温泉にまた行けるようになったのは循環器内科や心臓外科の先生のおかげです」と涙ながらにお話してくれました。また、「迅速な判断や対応をしてくれた救急隊にも心から感謝しています」とも語ってくれました。今は以前とほとんど変わらない生活をしているそうです。



episode

## 新任ドクターのご紹介

心臓血管外科  
平本 明徳 ひらもと あきのり  
*Akinori Hiramatsu*  
名古屋市立大学 平成12年卒

## Doctor

経歴  
名古屋市立大学 心臓血管外科  
刈谷総合病院 循環器科  
川崎幸病院 大動脈センター  
高瀬クリニック 心臓血管外科

### メッセージ

11月から心臓血管外科に勤務しています。一宮西病院のすばらしいスタッフの皆さんと一緒に地域に根付いた医療を患者さんに提供していきたいと思います。

## NEWS 1 第2回病院祭 あんずまつり2011が開催されました

日頃からお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて第2回となる「あんずまつり」を開催いたしました。開明の地に移転し、2年が過ぎました。今後も一宮西病院は『街と人が明るく健康でいられますように』の理念のもと、上を向いて歩んでいきます。当日は、数多くの方がご来場ください、大盛況となりました。ご来場いただきましたみなさま本当にありがとうございました。当日の模擬店の売り上げは日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金とさせていただきました。併せてお礼申し上げます。

### あんず保育園



あんず保育園の園児たちは一生懸命練習した、お弁当のうやマルモリ体操を元気いっぱい踊ってくれました！

### キッズコーナー



キッズコーナーでは憧れのナース服や消防服を着せてもらって記念撮影！

### 健康チェックコーナー



健康チェックコーナーでは、いつも血管年齢と骨密度が大人気です。他にも肺年齢や喫煙チェック・体脂肪やカラダ年齢チェック・乳がん自己チェックコーナーなど盛りだくさんの内容でした。

### マジックショー



プロのマジシャンによるマジックに子どもも釘づけ。

### バンド演奏会



社会人バンドのドレミファソウルズの演奏会も！

### 院内探検ツアー



小学生限定の院内探検ツアーも昨年に引き続き大人気!病院の内側からいつもは入れない場所に特別にご招待!手術室では実際に使用している手術着を看護師さんに着せてもらいました!未来の看護師さんやお医者さんがかわいく誕生しました!

### AED実演&講習会



尾西消防署の皆様のご協力を得て当院ライフサポートチームと一緒にAEDの講習会を行いました。またステージでも実際にAEDの使い方を実演!尾西消防署のみなさまありがとうございました！

### 救急車展示

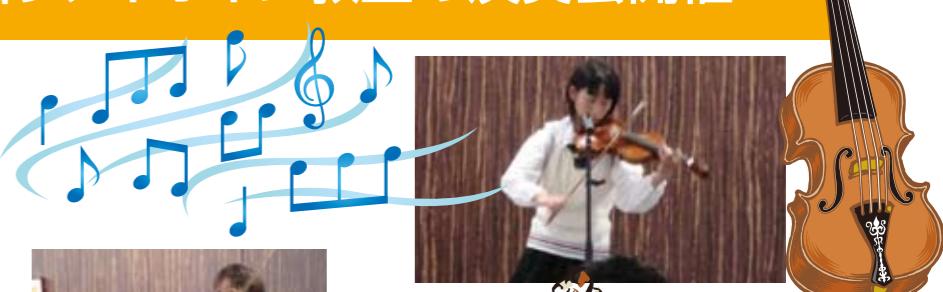


いつもは見ることがない救急車の展示も救急車の内部も見学できました！

## NEWS 2

## 12月3日 青山ヴァイオイン教室の演奏会開催

設立55年を超える歴史あるヴァイオリン教室のみなさんが一宮西病院の1階ロビー(ホスピタルストリート)で演奏会を開催して下さいました。中には小学校入学前の小さな演奏者もちらほら…。しかし小さなヴァイオリンでしっかり音を奏でる様子はプロの顔!当日は外来の患者さんや、入院中の患者さんが約100名ほどがホスピタルストリートに集まっていたとき、柔らかくて力強い子どもたちの演奏に聞き入っていました。



某部長先生の息子さんはソロで！しっかり迷いのない演奏はとても小学生とは思えません！

